

農薬

肥料

土づくり

3つの機能を併せ持つ

# 国産石灰窒素

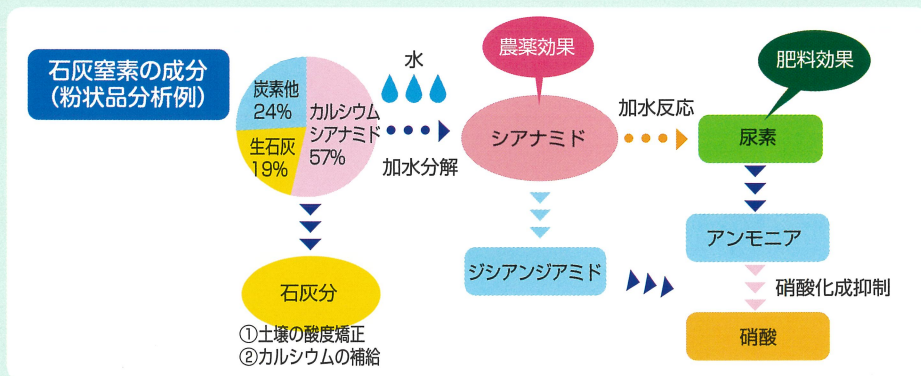
石灰窒素は、110余年の歴史を持ち、農家の方々に長年愛用される農業資材です。  
「農薬・肥料・土づくり」3つの機能を併せ持つ環境にやさしい「古くて新しい」資材です。

## 種類と成分

石灰窒素には、「粉状品」と、飛散が少なく散布しやすい「防散品」、そして「粒状品」の3種類があります。

荷姿 形態	肥料・農薬別	肥料		農薬
	成分	窒素	アルカリ分	カルシウムシアナミド
粉状・防散		21%	55%	50%
粒状		20%	50~55%	40~55%

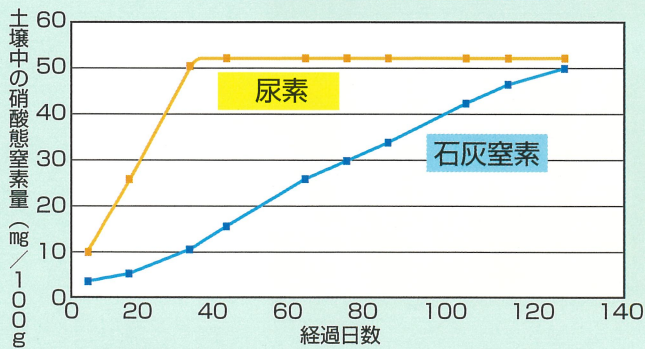
## はたらき



## 肥料効果

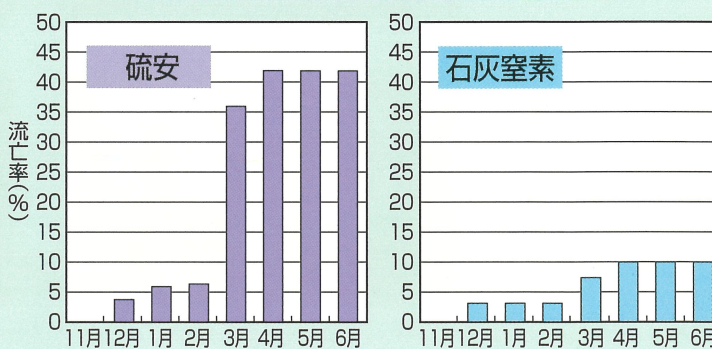
肥料効果が緩やか（ゆっくり長い）で、無駄が少ない（流亡が少ない）肥料です。  
農林水産省から「肥効調節型肥料」として認定されています。

石灰窒素の硝酸化成は緩やかです



表層腐植質黒ボク土、20℃、土壌水分：最大容量の60%、  
(財)日本肥糧検定協会（1997年）

石灰窒素は無駄が少ない緩効性肥料です



裸麦栽培中の窒素の流亡

## 使い方

は種、苗の植付けに先立ち、夏場は3~5日前、春・秋は7~10日前に散布し、土とよく混ぜてください。  
施用量は、作型、土壌条件、前作等により適宜加減してください。



## 農薬効果

シアナミドは農薬効果を発揮した後、尿素に変わるので、農薬成分は残留しません。  
 国産石灰窒素の農薬登録は以下の内容です。

作物名	適用病害虫(雑草)名	使用量(kg/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
水稻	ユリミミズ	40~60	は種前又は植付前	1回	散布後土壌混和
	ザリガニ	20~30	植代前		散布。荒起し後3~4cmに湿水し、3~4日後全面に散布、3~4日放置後植代を行う。(漏水を防止すること)
	スクミリンゴガイ	20~30	植代前		散布。荒起し後3~4cmに湿水し、3~4日後全面に散布、3~4日放置後植代を行う。(漏水を防止すること)
20~30		刈取後(水温15℃以上の時期)	散布。3~4mmに湿水し、1~4日後全面に散布、3~4日放置する。(漏水を防止すること)		
水稻	水田一年生雑草	30~70	は種前又は植付前	1回	散布
水田作物(水田刈跡)		50~70	水田作物刈取後		
水稻	ノビエの休眠覚醒(湿田及び半湿田)	40~50	水稻刈取後1週間以内		全面散布
れんこん	スクミリンゴガイ	60~100	植付前		散布後土壌混和(7日間以上放置後植付を行う)

作物名	適用病害虫(雑草)名	使用量(kg/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
はくさいキャベツ	根こぶ病	100~200 <sup>*1</sup>	は種前又は植付前	1回	散布後土壌混和
野菜類	センチュウ類	50~100	は種前又は植付前		散布後土壌混和
野菜類	一年生雑草	50~70	は種前又は植付前		散布
麦類			は種前		
桑	カイガラムシ類 胴枯病	湯湯10L当たり400~800g/10a	7月下旬~10月上旬		上澄液を株又は枝条の基部に散布する。

\*1 作型、品種、土壌条件に応じて使用量を決めて下さい。

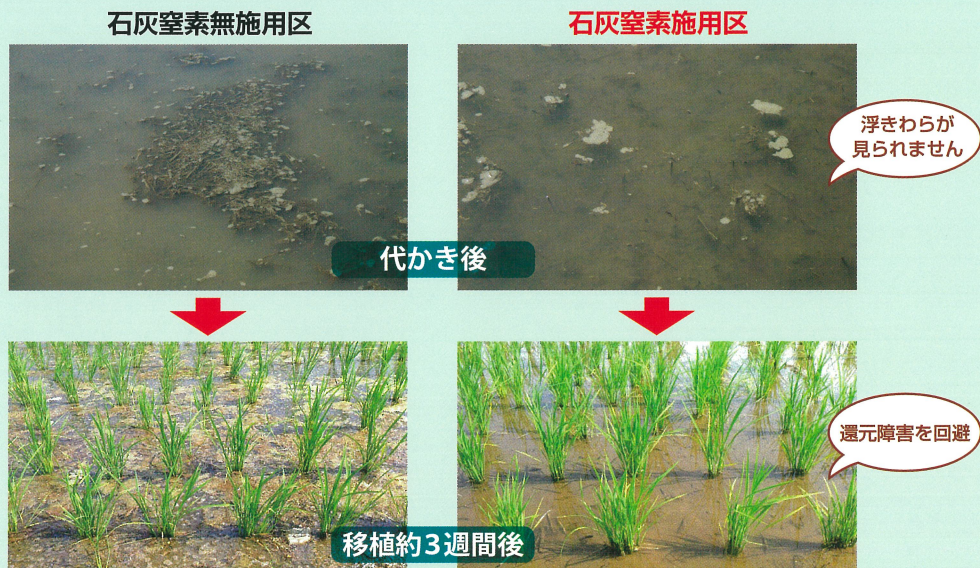
作物名	使用目的	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法
		薬量	希釈水量			
ばれいしよ <sup>*2</sup>	茎葉枯凋	10~15kg/10a	100L/10a	茎葉黄変期	1回	茎葉散布(上澄液) 茎葉散布

\*2 対象剤は石灰窒素50(粉)のみです。

## 土づくり効果

- 腐熟促進**..... 稲わら・麦稈、緑肥作物、野菜残渣の腐熟を促進し、土中で堆肥をつくりまします。
- 酸度矯正**..... 石灰窒素は、消石灰と同等の酸度矯正効果があります。
- 連作障害軽減**..... 土壌と混和することで土壌を消毒し、連作障害を軽減することができます。病害等の発生程度が激発な圃場には「太陽熱・石灰窒素法」があります。
- 温室効果ガス発生抑制**..... 水田からのメタン、茶園からの亜酸化窒素の発生を抑制します。石灰窒素は環境保全に貢献する資材です。

代かき後の浮きわらが少なく、還元障害による生育障害を回避できます



埼玉県内農家圃場

出典元：明日をつくる土づくり肥料(2020.)、土づくり肥料推進協議会

「石灰窒素」に関するお問い合わせは、下記までお願いします

**日本石灰窒素工業会**

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3-4 TEL.03-5207-5841 FAX.03-5207-5843 <http://www.cacn.jp>